住み慣れた地域で　誰もが安心して暮らせる　福祉のまちづくり

社協さんのへ

地域の
福祉情報を
お届けします

No. 152
2026. 8
Sannohe
Syakyo

みんなで動けば、まちも元気に。

春の城山公園に響く掛け声と笑い声。ラジオ体操で体をほぐした後は、みんなの手で公園を整えました。

三戸町シニアクラブ連合会主催　城山公園奉仕活動　2026.5.8

CONTENTS

2 ひまわりの会活動紹介
～家族を介護する人の受け皿に～
3 オレンジカフェ通信、福祉団体トピックス
4 令和７年度 事業報告・決算報告
6 令和８年度 事業計画・収支予算
7 昔取った杵柄　シルバー健在
8 善意の窓・各種おしらせ・編集後記

7ページ

シリーズ　昔取った杵柄

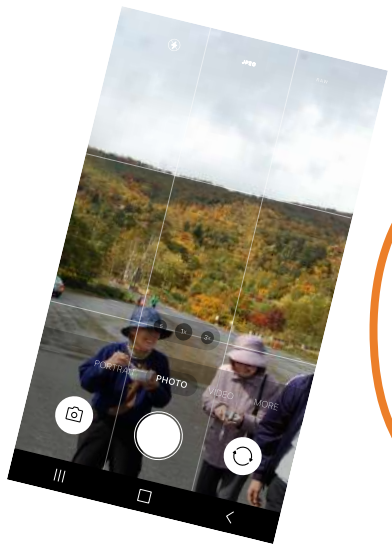
シルバー健在

伝える声、祈る声　その響きは今も。
玉岑寺 住職、川村 亨 さんにお話をうかがいました。

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会
三戸町大字在府小路町17
総合福祉センターふくじゅそう 2階
0179-22-0262
https://sannohe-syakyo.jp

…… ひとりで抱え込まないで ……

ひまわりの会
活動紹介・会員募集



みんなで出掛けて、美味しい食事に舌鼓。移動のバスでも、気の合う仲間とおしゃべりが尽きません。

ひまわりの会は、家族を介護している方同士が、悩みや不安を分かち合い、ほっとできる時間を持つための会です。

介護の大変さをひとりで抱え込まず、「話せてよかった」その声が、次の支えになるよう、活動をしています。

主な活動内容 ……

定例会(情報交換・お茶飲み会)

介護の悩みや工夫を話し合い、気持ちを軽くする時間を大切にしています。

学習会・勉強会

介護の知識や制度、健康づくりなど役立つ情報を学びます。

親睦・リフレッシュ活動

慰安旅行や食事会など、楽しい時間を通じて会員同士の絆を深めています。

会員体験談　「ひまわりの会に入って」　匿名さん（80代・女性）

お姫様と皆に呼ばれていた義母のわがままな日頃の介護と、農業の日々を二十二歳で嫁いで以来、息をつく暇もない日々を続けてきたある日のこと。

当時の会長さんに、「介護をしている人達が集まって、悩みを話し合ったり、年に一回温泉で日頃の疲れを癒したりする会があるけど入らない？」と進められ、私はひまわりの会に入りました。

病弱だと自分で言い、時にはタクシーを使ってまで病院通いする義母に「嫁だから仕方がない、尽くさなければ」と、翻弄されて過ごしているなかで「ひまわりの会」で皆とおしゃべりをすることで、私は助かってきました。

義母が亡くなった後に近所の方たちから、「嫁の悪口を喋る人だった」と聞かされた時は、本当に悲しく情けなくなりましたが、自分では精一杯やってきたと今は思います。

私が介護生活を始めたときは、まだ介護保険制度もなく「ひまわりの会」の集まりが、自分にとっては楽しみで皆の話を聞いたり、自分のつらさを聞いてもらったりして過ごすことができたことは良かったと思い、義母を見送った今も会に参加しています。

農業と介護、日々忙しさに追われるなかで、年に一回の日帰り温泉、新年会でごちそうを食べながら皆とワイワイ話をしたり大変さを聞いたりして「辛いのは自分だけではない私もがんばろう」と思いながら過ごしてきたことは本当に良かったと思い、今に至ります。

ひまわりの会は心に安らぎを与える居場所です。私と同じ思いをされた方、されている方、ひまわりの会で一緒に安らかなひと時を過ごしませんか。

入会案内

対象者　三戸町内にお住まいで、家族を介護している方

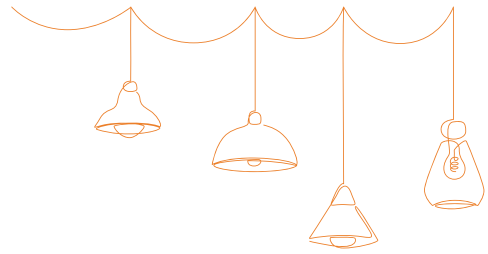
活動日　おしゃべり会：不定期　旅行：１０月頃　新年会：１月

年会費　１,０００円

申込み　三戸町社協　☎２２-０２６２

オレンジカフェ通信

ふくじゅそう



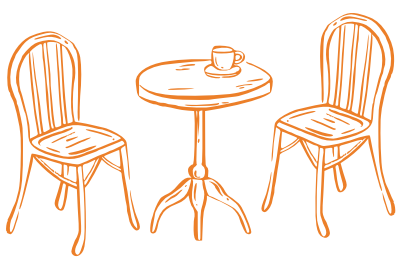
ほっと一息つきながら、つながりを感じられる。どんな人にとっても優しい場所がオレンジカフェです。

５月　オープンカフェ

５月１９日(火)、コーヒーとおしゃべりを楽しむオープンカフェを開催し、１１人が来店。最近の出来事や毎日の暮らしのことなど、おしゃべりにも花が咲きました。

オレンジカフェとは

住民の皆さんはもちろん、認知症の方やそのご家族、子育て中の方や色々な悩みがある方など、どなたでも安心して来られる居場所です。



開催予定　９月１５(火)　１０月２０(火)　１２月２２(火)

場所：ふくじゅそう地下１階　時間：午後２時～午後３時

福祉団体トピックス

モルック交流会

３月２４日(火)、三戸町シニアクラブ連合会主催の会員交流会がふくじゅそうで開催されました。

この日は、三戸・留崎地区から６クラブ、２９人が参加し、モルックで交流。

参加者からは「頭も使うし、ちょうどいい運動になる」「またやって欲しい」と感想が聞かれました。

城山公園奉仕活動

５月８日(金)、三戸町シニアクラブ連合会主催の城山公園奉仕活動が開催され、１６クラブ、１３９名が参加しました。

例年にない早咲きとなった今年。ほとんどの桜は散ったあとでしたが、来年も綺麗に咲くように願いながら、施肥とゴミ拾いを行いました。

シニアクラブへの入会を希望される方は、お住まいの地区のクラブまたは社会福祉協議会にお問い合わせください

令和７年度

事業報告

地域の皆さまにご協力いただき、さまざまな事業を実施しました。その概要をご報告します。

1 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

ほのぼのネットワーク・ふれあいサロン・オレンジカフェ　など

ボランティアや民生委員、関係機関と連携し、見守り活動やオレンジカフェを開催しました。

また地域の居場所となる、ふれあいサロンの立ち上げ・運営支援も進めました。

参加者の声

・気軽に立ち寄れる場所。外出の機会も増えると思う。
・この和気あいあいの雰囲気が大好き。
・小さなグループで語る時間はとても貴重で、心が晴れる。

主な実績

●ほのぼの交流協力員	９９人
●見守り対象世帯	９１世帯
●地域サロン７ヶ所	７０回/延べ６０４人参加
●オレンジカフェ	7回/延べ１１９人参加

2 福祉教育・ボランティア活動の推進

ボランティアスクール・子どもほのぼの　など

●ボランティアスクール
高校生 3 人参加

●研修会
支える人のための心の健康づくり
３８人参加

●子どもほのぼの交流会
４８人参加（子ども41人、高齢者7人）

●子ども福祉スクール
５０人参加

3 地域生活支援事業

安心電話・困窮者支援・権利擁護　など

●安心電話
設置件数２３世帯

●資金の貸付
５件、１８１,４４７円

●フードバンク支援
３８件

●権利擁護(あっぷるハート)利用する人/支える人
利用者６人、支援員４人

高齢者福祉の充実

●家族介護者支援
●運転免許者自主返納者支援

障がい者福祉の充実

●憩いの森あすもこっの運営
●障がい者と生徒の交流会

児童福祉の充実

●乳児おむつ等購入費助成
●入学祝い品贈呈

福祉情報の提供

●社協だより
●ホームページ運営

在宅福祉サービス

●ケアマネジャー
●ヘルパー
●計画相談

公益事業等

●シルバー人材センター

そのほか

●受託団体の事務局
●社会福祉大会
●移送サービス、配食サービス

令和７年度

決算報告

令和７年度の決算についてご報告します。

資金収支計算書

会計年度の支払資金の収入と支出の内容を表す書類です。

（単位:円）

勘定科目			決算額
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	76,857,440
		障害福祉サービス等事業収入	6,013,030
		会費収入 ※1	2,944,100
		事業収入	48,261,583
		共同募金配分金収入	3,293,500
		助成金収入	295,600
		受託金収入	96,083,454
		貸付事業等収入	171,840
		経常経費寄付金収入	146,000
		受取利息配当金収入	77,298
		その他の収入	25,705
		事業活動収入計(1)	234,169,550
	支出	人件費支出	196,260,852
		事業費支出	11,368,940
		事務費支出	31,133,207
		貸付事業費支出	181,447
		助成金支出	833,815
		事業活動支出計(2)	239,778,261
	事業活動資金収支差額(3)＝(1)-(2)		-5,608,711
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	0
		施設整備等収入計(4)	0
	支出	固定資産取得支出	1,588,100
		施設整備等支出計(5)	1,588,100
	施設整備等資金収支差額(6)＝(4)-(5)		-1,588,100
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	722,744
		その他の活動収入計(7)	722,744
	支出	積立資産支出	7,130,227
		その他の活動支出計(8)	7,130,227
	その他の活動資金収支差額(9)＝(7)-(8)		-6,407,483
予備費(10)			0
当期末資金収支差額合計(11)＝(3)+(6)+(9)-(10)			-13,604,294
前期末支払資金差額合計(12)			40,564,931
当期末支払資金残高(13)			26,960,637

※１　会費収入の内訳

社協会費……2,866,100円

シルバー人材センター年会費……78,000円

事業活動計算書

１年間の事業活動を行った結果の損益を示す書類です。

（単位:円）

勘定科目			決算額
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	76,857,440
		障害福祉サービス事業費収益	6,013,030
		会費収益	2,944,100
		事業収益	48,261,583
		共同募金配分金収益	3,293,500
		助成金収益	295,600
		受託金収益	96,083,454
		経常経費寄付金収益	146,000
		サービス活動収益計(1)	233,894,707
	費用	人件費支出	203,249,653
		事業費支出	11,363,940
		事務費支出	31,133,207
		助成金支出	833,815
		減価償却費	1,633,865
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-135,262
		基金繰入金	160,284
		サービス活動費用計(2)	248,244,502
	サービス活動増減差額(3)＝(1)-(2)		-14,349,795
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	77,298
		その他のサービス活動外収益	25,705
		サービス活動外収益計(4)	103,003
	費用	サービス活動外費用計(5)	0
	サービス活動外増減差額(6)＝(4)-(5)		103,003
経常増減差額(7)＝(3)+(6)			-14,246,792
特別増減の部	収益	固定資産売却益	0
		特別収益計(8)	0
	費用	固定資産売却損･処分損	21
		国庫補助金等特別積立金積立額	0
		特別費用計(9)	21
	特別増減差額(10)＝(8)-(9)		-21
当期活動増減差額(11)＝(7)+(10)			-14,246,813
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		35,731,125
	当期末繰越活動増減差額(13)＝(11)+(12)		21,484,312
	基本金取崩額(14)		0
	基金取崩額(15)		0
	その他の積立金取崩額(16)		0
	その他の積立金積立額(17)		8,367
	次期繰越活動増減差額(18)＝(13)+(14)+(15)+(16)-(17)		21,475,945

貸借対照表

会計年度末における、全ての資産、負債、純資産の状態を表す書類です

（単位:円）

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	41,826,491	流動負債	22,388,187
現金預金	24,899,182	事業未払金	12,413,044
事業未収金	13,262,299	その他の未払金	1,985,600
未収金	629,698	預り金	13,910
未収補助金	2,357,404	職員預り金	385,300
立替金	442,846	前受金	68,000
前払金	116,300	賞与引当金	7,522,233
前払費用	118,762	固定負債	57,396,572
固定資産	72,224,385	退職給付引当金	57,396,572
基本財産	1,000,000	負債の部合計	79,784,759
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	71,224,385	基本金	1,000,000
建設附属設備	89,720	基本金	1,000,000
車両運搬具	1,380,582	基金	7,303,627
器具及び備品	371,694	福祉基金	7,303,627
電話加入権利	292,584	国庫補助金等特別積立金	261,386
ソフトウェア	0	国庫補助等特別積立金	261,386
退職手当積立基金預け金	48,995,680	その他の積立金	4,225,159
退職給付金引当資産	8,400,892	介護保険財政調整基金積立金	4,225,159
福祉基金積立資産	7,303,627	次期繰越活動増減差額	21,475,945
介護保険財政調整基金積立資産	4,225,159	（うち当期繰越活動増減差額）	-14,246,813
その他の固定資産	164,447	純資産の部合計	34,266,117
資産の部合計	114,050,876	負債及び純資産の部合計	114,050,876

令和７年度の事業と決算をご報告しました。

本会の地域福祉活動や各種事業は、介護保険事業収入をはじめ、補助金や社協会費、寄付金、県共同募金会からの助成金など、さまざまな財源に支えられています。皆さまのあたたかいご支援に、心から感謝申し上げます。

令和８年度

事業計画・予算

令和８年度の事業計画と予算の概要についてご報告します。

本会の基本理念　～ 住み慣れた地域で　誰もが安心して暮らせる　福祉のまちづくり ～

第３期地域福祉活動計画の基本理念　～ つながりを大切に　みんなで支え合うまち　さんのへ ～

重点的に取り組む４つの柱

1 地域福祉の基盤づくり

●ボランティアスクール
●ボランティアセンター
●福祉教育　など

啓発と担い手の育成

2 孤独や孤立を生まない まちづくり

●ほのぼのネットワーク
●サロン、オレンジカフェ
●介護・障害サービス　など

つながりを広げる地域づくり

3 安心して暮らせるまちづくり

●権利擁護
●シルバー人材センター
●移送、配食　など

いつまでも その人らしく

4 組織体制と経営基盤の強化

●地域福祉活動計画の運用
●人材育成、職員研修
●広報活動の充実　など

スキルアップ、情報発信

そのほか、主な取り組み

- 児童福祉施設等への助成
- 赤ちゃんのオムツ代助成
- 心配ごと相談
- 困窮者支援
- 憩いの森あすもこっ
- 福祉安心電話
- 福祉機器の貸し出し
- 公共施設への職員配置
- 世代間交流
- 除雪支援
- DXと業務効率化
- 受託団体の事務局

詳しい事業内容は、社協ホームページをご覧ください。▶

資金収支予算書

（単位:円）

勘定科目			本年度当初予算額
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	85,637,000
		障害福祉サービス等事業収入	8,707,000
		会費収入	2,966,000
		事業収入	48,407,000
		共同募金配分金収入	3,143,000
		助成金収入	220,000
		受託金収入	105,583,000
		貸付事業等収入	200,000
		経常経費寄付金収入	130,000
		受取利息配当金収入	29,000
		その他の収入	1,054,000
		事業活動収入計(1)	256,076,000
	支出	人件費支出	223,549,000
		事業費支出	13,666,000
		事務費支出	33,911,000
		貸付事業費支出	200,000
		助成金支出	800,000
		事業活動支出計(2)	272,136,000
	事業活動資金収支差額(3)＝(1)-(2)		-16,060,000
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	0
		施設整備等収入計(4)	0
	支出	固定資産取得支出	3,177,000
		施設整備等支出計(5)	3,177,000
	施設整備等資金収支差額(6)＝(4)-(5)		-3,177,000
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	8,052,000
		その他の活動収入計(7)	8,052,000
	支出	積立資産支出	8,499,000
		その他の活動支出計(8)	8,499,000
	その他の活動資金収支差額(9)＝(7)-(8)		-447,000
予備費(10)			0
当期末資金収支差額合計(11)＝(3)+(6)+(9)-(10)			-19,684,000
前期末支払資金差額合計(12)			40,565,000
当期末支払資金残高(13)			20,881,000

昔とった杵柄
―シルバー健在―

カワムラ　トオル
川村 亨 さん　89歳（1937〔昭和12〕年3月生まれ）

出　身　三戸町
職　業　玉岑寺第14代住職（元青森放送アナウンサー）
趣　味　登山・スキー・読書・運動

同心町にある玉岑寺(ぎょくしんじ)第十四代住職の川村亨さんは、県立八戸高校を卒業後、お寺の後継者となるべく京都市にある大谷大学で学びます。

戦後の食糧事情がまだ悪い中「下宿生活ではどうにか食生活を維持できましたが、下宿からアパートに移ると3度の食事はままならず」。ひもじさを紛らわせてくれたのが大学の男声合唱団でした。セカンドテナーを担当し各地に赴き活躍されます。このときの発声練習や喉の鍛錬がやがて生かされることに。アナウンサーではキレのある発声、住職になってからも堂内に澄んで響き渡る読経にプロの声楽家も聞き惚れ、それが大学での合唱団での賜と聞き納得したという次第です。

大学を卒業してちょっと寄り道。「車好きが嵩じて京都市にあった自動車販売会社に入社したんです」。

それから間もなくして青森県庁の上級試験と青森放送の試験に合格、「熟慮の末にアナウンサーの道を選びました」。研修を終えてテレビ画面に向かい、初めてニュース原稿を読んだときの興奮と緊張は今も忘れられません。その後はスタジオ内だけではなく、青森県各地に赴き、様々な事件や事故、県民の暮らしぶりなどを伝えてきました。

やがてテレビ中継車が導入されると報道記者として自分で原稿を書き、現場から読み上げるというスタイルが定着していきます。

多忙な生活が続く中、弘前にある学校法人で学長をしていた旧知の方から、小学校で家庭科の教師をしていた女性を紹介されます。それが奥様となる晃子さんでした。2年ほど交際を続け、六十三(昭和三十六)年にお二人はめでたく結婚されます。

玉岑寺を継いだのは七十九(昭和五十四)年。通常は先代のご住職から作法や法要の心得、衣装の着方などを学ぶのですが、川村さんが住職に就任する直前に先代が亡くなり、指導してくれる人はいません。これまでの記憶を頼りにしたり、よそのお寺に出仕して教えを請うなど苦労が続きました。

そんなある日、行事に使う大切な品物の置き場所が分からず困っていたところ、夢の中で品物のある場所が示されたのです。「阿弥陀様のお導きとしか言いようがないですね」と苦笑い。先々代が開園した紫苑幼稚園(現在閉園)の経営も奥様と二人三脚でもり立てていきます。

若い頃から登山とスキーに慣れ親しみ、東北の山のほとんどを踏破、そのせいか体は今も衰え知らず。九十歳を目前にしながらもスクワット、腕立て伏せ、足上げなどを毎日朝晩欠かさずに行い、独自の背伸び運動も猫背、背中の曲がり防止に役立っています。食べ物に好き嫌いはなく、大の好物はなんと、パフェ！

何事も経験、と様々な社会的活動にも参加し、行動力は衰え知らず。間もなく後継者となる十五代目も就任する予定で、お二人揃ったお姿を拝見する日も近いようです。

文責：相米周二

善意の窓

ご寄付をいただいた皆様、ありがとうございました。
寄せられた善意は地域福祉活動のために使わせていただきます。

（2026〔令和8〕年3月1日～6月30日）

金銭のご寄付

橋爪商事株式会社 三戸支店　様　…７,０００円

物品のご寄付

匿名希望　様　…タオル

赤塚 立平　様　…商品券

小・中学校の新１年生に図書カードを贈呈しました

本会では子育て支援の一環として、赤い羽根共同募金「１１ぴきのピンバッジ募金」の寄附金を財源に、小・中学校に入学した新１年生に入学祝い品を贈呈しています。

今年度も４月２日(木)に町教育委員会に対して、町内の新１年生８７人分(１年生３８人、７年生４９人分)の図書カードを寄贈。図書カードは各学校から子どもたちに届けられました。

原教育長(右)と藤村会長

シルバー人材センター 会　員　募　集

あなたの経験を、地域で生かしてみませんか。定年後も働きたい方、空いた時間を有効に使いたい方、ぜひご入会を。

- 対象　三戸町在住で６０歳以上の方
- 内容　草刈り・清掃・家事援助 など

お問合せ：三戸町シルバー人材センター
２２-０２６２(三戸社協内)

令和８年度　社会福祉協議会　会員加入のお願い

本会では町民の皆様が主役の地域福祉活動推進のため会員制度を取り入れております。

昨年度は２,７０９件、およそ２８６万の会費を納入いただき、生活困窮者支援や福祉教育推進などの財源として活用させていただきました、誠にありがとうございました。

今年度も７月から会員加入運動が始まりました。加入を強制するものではありませんが、どうか会員制度の趣旨をご理解いただき、今年度も社協会員へのご加入をよろしくお願い致します。

会員区分と年会費

一般会員　一口 １,０００ 円

団体会員　一口 ３,０００ 円

賛助会員　一口 ５,０００ 円

見守り配食サービス ～毎日のごはんが、楽しみと安心になるように～

「今日も変わらず、お元気ですか？」

社協では町から委託を受け、高齢の方など、ご自身で食事を用意することが困難な方に、栄養バランスのとれたお弁当をお届けしています。

ご利用は登録制です、まずはご相談ください。

利用料　一食４５０円(おかずのみ３５０円)

利用日　月～金曜日の昼食

利用登録に関するお問い合わせ　三戸町役場健康長寿課　電話：２０-１１５３

編集後記

節目の150号でリニューアルしたかったのですが、気が付けば152号。少し出遅れましたが、名称を「社協さんのへ」に改め、紙面デザインも一新しました。「見やすくなった」「読みやすくなった」と感じていただけたらうれしいです。これからも、地域の身近な福祉情報を分かりやすくお届けしていきます。

社協さんのへの発行にあたり、青森県共同募金会からの助成金と社協会費を使わせていただいております。